

本籍	東京市日本橋区浜町1丁目1番地
住所	東京府荏原郡大井町1192番地 東京府士族 旧名 五郎八郎 仁杉英 嘉永6年8月23日 生 出生地 東京市日本橋区北島町1丁目
明治元年5月22日	今般江戸鎮台府被為置候に付町奉行被為廢候得共市政裁判所に相詰候役々是迄之通事務取扱可申候事 一鎮台府
明治2年正月29日	是迄之職務被免候事 一東京府
明治2年2月2日	当番所詰申付候事 一東京府
明治2年7月22日	役員減少に付職務被免候事 一東京府
明治11年6月	代言人を免許せらる 一司法省
明治19年4月25日	東京代言人組合常議員当選 (満期退任)
明治20年4月15日	東京代言人組合副会長当選 (満期退任)
明治20年12月10日	東京府会議員当選 (継続31年3月に至る)
明治22年4月16日	日本橋区市徴兵参事員当選 (継続25年に至る)
明治22年11月30日	日本橋区区会議員当選 (継続30年8月に至る)
明治24年2月13日	東京市会議員当選 (継続30年8月に至る)
明治24年6月17日	日本橋区学務委員当選 (継続30年8月に至る)
明治26年4月29日	東京市名誉職市参事会員当選 (継続30年8月に至る)
明治26年5月1日	弁護士名簿登録、30年8月請求取消一東京地方裁判所 検事局
明治26年6月5日	商法施行条例35条に依り破産管財人を命ず 一司法省
明治27年2月9日	東京府会市部常置委員当選 (30年8月辞任)
明治27年2月17日	東京府地方衛生会委員を命ず (29年勅令改正に依り解任) 一東京府
明治27年6月20日	東京弁護士会副会長当選 (満期退任)
明治28年2月28日	小学校教科用図書審査委員を命ず 一東京府
明治29年4月6日	東京府会および市部会副議長当選 (満期退任)
明治29年6月8日	商法施行条例第35条に依り破産管財人を命ず 一司法省
明治30年8月6日	東京市日本橋区長に任ず 一東京市参事会
明治31年10月29日	兼東京市浅草区長に任ず (32年2月免ぜらる) 一東京市参事会

明治32年4月7日	地方衛生会臨時委員を命ず（33年1月免ぜらる）一東京府
明治35年5月3日	依願区長を免ず 一東京市参事会
明治35年8月13日	衆議院議員当選（同年12月28日解散）
明治35年10月7日	東京市会議長当選（36年11月辞任）
明治36年8月17日	弁護士名簿登録（同年12月請求取消）一東京地方裁判所 検事局
明治36年12月4日	東京市深川区長に任ず 一東京市参事会
明治38年8月19日	東京市本郷区長に任ず 一東京市参事会
明治39年4月1日	明治37、8年事件の功に依り勲六等单光旭日章及び金四百 円を授け賜ふ 一内閣賞勲局
明治39年5月16日	兼任東京市小石川区長（同年7月免ぜらる）一東京市参事会
明治41年6月16日	東京市本所区長に任ず 一東京市参事会
明治44年6月7日	市吏員分限規程第三条第一項および第三項に依り休職を命ず 一東京市参事会
明治45年2月24日	東京市麹町区長に任ず 一東京市役所
大正元年10月28日	市吏員分限規程第三条第一項および第三項に依り休職を命ず 一東京市役所
大正3年1月12日	依願免区長 一東京市役所
右之通候也 大正5年6月 仁杉 英	